

九条だより

第 136 号

北広島九条の会 2019.04.01 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ www.kitahiro9.org

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

4月例会のお知らせ

「朝鮮問題、どうとらえるかー東アジアの平和のために」

4月7日(日) 午後2時~4時 団地住民センター

講師 林 炳澤 (イムピョンテク) さん

資料代 200円 (高校生以下は無料)

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

「私たちが新しい道政をつくる」 石川^{いしかわ} 知裕^{ともひろ}さんを擁立。

4月7日投票の北海道知事選で市民と野党の共闘が成立

2月8日、歴史的な記者会見が行われました。北海道知事選で市民と野党の共闘が成立し、立憲民主、国民民主、共産、社民の各野党と「戦争をさせない市民の風」の5者が石川知裕氏の擁立を発表し、同席した石川氏は「市民と野党の統一候補」としての出馬表明を行いました。

その政策の骨子は、①憲法9条改定に反対、②貧困・格差をなくし福祉・教育の充実をはかる、③一次産業、中小企業を大切にする、④原発のない北海道、再生可能エネルギーで地域づくりをすすめる、にあります。特に焦点となっている「カジノ誘致反対」「鉄道を守る」「脱原発」について合意しました。

首相官邸を向いてばかりの自公道政を転換、「市民と野党の共闘」を勝利させることは、新しい時代を切り拓くこととなります。

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

3月例会 「3・1 独立運動 100 周年から考える」

知らされてこなかった歴史の事実と向き合う

3月10日(日) 団地住民センターで第72回例会が開かれ34名の市民が参加しました。講演テーマは、「3・1独立運動100周年から考える」です。日本ではあまり知られてこなかった「3・1独立運動」とは、植民地時代の朝鮮に起こった大規模な抗日運動です。朴槿恵政権を倒したキャンドル市民革命の源流ともいわれるこの運動が、今年100周年を迎えたことを期に、改めて朝鮮と日本の関係を考えようと今回の講演が企画されました。講師は、「只、意志あれば一植民地朝鮮と連帯した日本人」(日本経済評論社)、「常盤の木—金子文子と朴烈の愛」(同時代社・翻訳)などの著作のある後藤守彦さんでした。以下に講演の概要を記します。

< 近代以前の日朝関係 >

古来、朝鮮は、大陸の文化、宗教、技術を日本に取り次ぐ大恩人です。豊臣秀吉の朝鮮侵略の傷跡は消えませんが、鎖国政策をとっていたといわれる江戸時代は実際には朝鮮との貿易や使節の来日があり、また、隣国ゆえに生じる問題には人道的な対応が双方にありました。

< 植民地化の過程と 3・1 独立運動 >

近代、世界で植民地「確保」競争が展開される中、明治期の日本は、「脱亜入欧」を目指し、「弱肉強食」の論理で「富国強兵」路線をとり、朝鮮への軍事行動を開始、朝鮮侵略の過程で日清・日露の戦争を起し植民地化を完成しました。

日本が徹底した軍事支配と同化政策を行う中で起こった 3・1 独立運動は、1919 年 3 月 1 日に始まり、全国各地で 100~200 万人が参加し、3 か月続いた運動であり、「民族自決権」や「人類平等主義」を謳った「独立宣言書」の朗読や「独立万歳」を叫ぶ示威行進など、非暴力主義を基本とした運動でした。

しかし、このような文明的行動に対して日本が行ったのは極めて野蛮で残虐な殺戮で、これは関東大震災時に行われた朝鮮人虐殺にも通じるものです。

敗戦を迎えて、結果として明治政府のとった路線は、日本に 300 万人、アジアに 2000 万人の犠牲をもたらしました。

< 戦後の日朝関係 >

今、徴用工判決をめぐり日本政府は、1965 年の日韓基本条約、4 付属協定（請求権協定）を根拠に韓国に対し強硬な態度を示し、マスコミも概ねこれに同調しています。しかし、この協定は韓国が軍事独裁政権下で結ばれたものであり、国民の意思を反映したものといえません。また、日本政府は、故意に解釈の転換を行っており実に不誠実な対応です。

戦後日本は、朝鮮に対して一貫して謝罪の態度を示してきませんでした。日本に根本的責任が問われる朝鮮戦争においては、米軍の後方支援の役割を担い、これが高度経済成長の基礎となったことは皮肉な事実です。大戦直後の混乱期でさえ日本は姑息な手段で朝鮮を排除し、差別化をはかりました。その差別政策は今に続きます。近年韓国は、キャンドル市民革命により民主主義を発展させました。それに引き換え、日本では民主主義の劣化が進行しています。意図的に知らされてこなかったと言える歴史的事実が 3・1 独立運動の他にもあり、まずは過去の歴史認識から学び直しが必要と感じました。日本が近代に選ばなかったもう 1 つの道、アジアとともに歩むという道を現代日本が選択できるよう働きかけを続けることが大切であるということを学びました。

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝

える「バトンタッチ」第 8 集が刊
行されました。玉稿をお寄せいた
だいた市民の方は 13 名、特別企画
として「旧陸軍通信所シンポジウ
ム」の記録が掲載されています。
頒価 300 円。ぜひご覧ください。

◎ホームページへの投稿を呼びか
けています。「憲法と私」のコーナー。
形式は問いません。イニシャル掲
載。

◎募金のお願い。会員制をとってい
ません。活動は皆さんの浄財が頼り
です。是非ご協力をお願いします。
郵便振込み口座・北広島九条の会

九条を空んじてみせる新成人	濡れ落葉下に畏ある獣道	天中に冬の満月冴えかえる	電線の雪おはようと舞い降りる	つごもりや厨にふつつ落し蓋	初歌留多身を乗り出すや婿も居て草子	節分や豆炒る鍋を囲む子ら	大寒は散歩の犬もせつなそう	平和五七五（灯火）の句会から
保雄	松尾	和子	月子	泉	草子	容子	久枝	

02790-9-65384